

日本生体医工学会 平成29年度第4回理事会議事録

日時：平成30年1月24日(水) 14:00～17:00

会場：コンベンションホールAP東京八重洲通り 11階Oルーム

<出席者>

理事長：杉町 勝

副理事長：大城 理（兼関西支部長），山家 智之

理事：佐久間 一郎（兼関東支部長），中村 真人（兼北陸支部長），花房 昭彦，
松本 健郎，村垣 善浩，守本 祐司，石原 謙（兼中国四国支部長），川田 徹，
木村 裕一，黒田 知宏（遠隔出席），野村 泰伸，平田 雅之，松田 哲也

監事：吉田 正樹

<オブザーバー・出席者>

幹事：京相 雅樹

オブザーバー：磯山 隆（事務局長），井上 勝裕（九州支部長），
成瀬 恵治（第59回大会長），椎名 毅（第60回大会長）

<欠席者>

理事：橋爪 誠，佐藤 嘉伸

監事：牧川 方昭，澤 芳樹

幹事：原口 亮

<配布資料>

議事次第

資料 29-4-2 平成29年度第3回理事会議事録（案）

資料 29-4-3 入退会審査対象者

資料 29-4-4-1 テレビ会議システムの理事会への導入について

資料 29-4-4-2 学会 web サーバの状況について

資料 29-4-4-3 甲信越支部に係る広報委員会の委員選出について

資料 29-4-5-1 第39回第2種ME技術実力検定試験結果報告

資料 29-4-5-2 ME技術教育委員案承認の件

資料 29-4-6 活性化委員会 委員会・セミナー活動報告について

資料 29-4-7-1 国際委員会関係報告について

資料 29-4-7-2 LetterOfInterestToHostWC2014_JAPAN について

資料 29-4-7-3 Proposal-Form-Special-Session-APRNF Session について

- 資料 29-4-7-4 APRN 公募文書(20171009)について
- 資料 29-4-7-5 APRNF Funding Guidelines 27Jun2017 について
- 資料 29-4-8 2018 年学会大会の開催について
- 資料 29-4-9 2019 年学会大会の開催について
- 資料 29-4-10-1 2021 年学会大会の開催について
- 資料 29-4-10-2 会場予約の準備金支援についての確認
- 資料 29-4-11-1 北海道支部選奨報告書について(2017-003)
- 資料 29-4-11-2 中国四国支部選奨報告書について(2017-006)
- 資料 29-4-11-3 Young Investigator's Award (YIA) 審査について
- 資料 29-4-11-4 平成 29 年度各賞応募状況について
- 資料 29-4-12-1 2018 年度日本生体医工学会サマースクール実施依頼の件
- 資料 29-4-12-2 第一回 ME 若手 WG 講演会事業の報告書について
- 資料 29-4-13 関西支部 平成 30・31 年度支部役員 (案)について
- 資料 29-4-14 臨床研究法施行規則 (案) に対する要望
- 資料 29-4-15-1 協賛等の状況 (回覧資料)
- 資料 29-4-15-2 日本医学会分科会用語委員会資料 (回覧資料)

1. 理事会成立の件(総務)

13 名の出席が報告され、定款 34 条に基づき、理事会成立が宣言された。

2. 前回議事録承認の件(総務)

杉町理事長より、資料 29-4-2 に基づき、前回議事録の確認が行われ、原案通り承認された

3. 入退会状況の件(会員)

杉町理事長より、資料 29-4-3 が回覧され、入退会状況が報告された。

4. (1) 甲信越支部に係る広報委員会の委員選出について

黒田理事より、資料 29-4-4-3 に基づいて甲信越支部の委員追加報告がなされ、内容の確認が行われた。

(2) 学会 Web サーバの状況について

黒田理事より、資料 29-4-4-2 に基づき、各ページへのリンクの状況について、また Web サイトの運用について、報告があった。これに関連し、過去の大会について、コンテンツの保存をどのようにするかについて審議した。その結果、支部については現状のままの運用で問題ないとの結論となり、また過去の大会を含めた学会については、バックナンバーとして保存する方向で調整することになった。これに伴い、過去の大会等の Web 関連情報を調査・収集してゆくこととなった。

(3) テレビ会議システムの理事会への導入について

杉町理事長より、会議冒頭でテレビ会議システムを今回試験的に導入するとの

案内があり、黒田理事が遠隔出席した。

黒田理事より、資料 29-4-4-1 に基づき、資料に基づきシステムの内容について説明があり、導入することが承認された。なお、見積内容については業者に確認した上で導入手続きを行うこととなった。また、本システムの理事会等における利用方法については今後検討してゆくことになった。

5. (1) 第39回第2種ME技術実力検定試験結果報告

守本理事より、資料 29-4-5-1 に基づき、結果の報告があった。受験者増に向けた施策、受験者に向けたサポートについても検討している旨報告があった。これに対し、企業に向けて受験を促すような施策が効果的なのではないかという意見が出された。また出題ミスに対する対策について、議論がなされた。

(2) ME技術教育委員会案承認の件

守本理事より、資料 29-4-5-2 に基づき、委員会の構成について原案の提示があり、承認された。

6. 活性化委員会および開催したセミナー活動報告について

花房理事より、資料 29-4-6 に基づき、活性化委員会報告、医療機器関連業界セミナーの報告があった。

7. 国際委員会報告について

佐久間理事より、資料 29-4-7-1 に基づき、企画および計画の紹介、資料 29-4-7-2 に基づき、Letter Of Interest To Host WC2024_JAPAN について、資料 29-4-7-3 に基づき、Proposal-Form-Special-Session-APRNF Session について、資料 29-4-7-4 に基づき、APRN 公募文書について、そして資料 29-4-7-5 に基づき、APRNF Funding Guidelines についての説明があった。学会の Proceedings(英文)の公開方法などに関して議論があり、公開方法を工夫することにより有効なサービスが提供でき、また学会もメリットを享受できるとの意見があった。今後どのような公開方法があるか、どのようなサービスが提供可能か検討してゆくこととなった。

8. 2018年学会大会の開催について

杉町理事長より、資料 29-4-8 に基づき、現在の準備状況について説明があった。

9. 2019年学会大会の開催について

佐久間理事より、資料 29-4-9 に基づき、現在の準備状況について説明があった。予稿集、プログラムの作成プロセスについて、2018年大会で実施する方法を踏襲した上で次年度以降も再利用可能なシステムを構築する予定であることが確認された。

10. 2021年学会大会の開催について

椎名大会長より、資料 29-4-10 に基づき準備状況について報告があった。この中で、会場の本予約に際し、準備金をどの程度の規模でいつ頃準備できるのかに

関して問い合わせがあり、財務担当理事・学会事務局側で確認することとなった。

1 1. (1) 北海道支部選奨報告書について

松本理事より、資料 29-4-11-1 に基づき報告があった。

(2) 中国四国支部選奨報告書について

松本理事より、資料 29-4-11-2 に基づき報告があった。

(3) Young Investigator's Award(YIA)審査について

松本理事より、資料 29-4-11-3 に基づき報告があった。必要経費について、すでに承認した計画と費用等に関して差異があるため、実行委員会に内容に関して確認することになった。また、限られた経費内での賞品の選定について、応募者人数に応じて受賞者人数を柔軟に決定すべきではないかとの意見があり、これについても実行委員会に確認することにした。

(4) 平成 29 年度各賞応募状況について

松本理事より、現在の状況について報告があり、論文賞の応募がない状況であることから、締め切りを 2 月末まで延長し、次回理事会までに推薦することを確認した。

1 2. (1) 2018 年度日本生体医工学会サマースクール実施依頼の件

野村理事より、資料 29-4-12-1 に基づき次回の開催に関する計画案の説明と審議依頼があった。参加費について、学生、一般それぞれで会員、協賛学会員、非会員で差を付けたらどうかという意見があり、実行委員会に提案することになった。また、実行委員など若手研究者活動 WG のメンバーの裾野を広げてはどうかという提案があり、この点に関しても委員会に提案することになった。

(2) 第一回 ME 若手 WG 講演会事業の報告書について

野村理事より、資料 29-4-12-2 に基づき報告があった。来年度も継続する予定であるので予算化するために若手研究者活動 WG から予算案を提出してもらうことになった。

(3) 若手研究者活動 WG の活動内容についてはできるだけ頻回に理事会で報告してもらうことにした。

1 3. 関西支部平成 30・31 年度支部役員(案)について

大城理事より、資料 29-4-13 に基づき、支部役員案の説明があり、支部長に関して審議、承認の依頼があった。審議の結果、原案通り承認された。

1 4. 臨床研究法施行規則(案)に対する要望

木村理事より、資料 29-4-14 に基づき、施行規則案に対する学会からのパブコメの文案に関する説明と審議依頼があった。軽微な侵襲について、ボランティアを使った研究の臨床研究法からの除外をパブコメに含めるかについて議論があったが、原案の方針で進めることが承認された。また、日本コンピュータ外科学会(理事長橋爪先生)との連名で、パブコメを提出することも承認された。なお、

日本医用画像工学会からも、同一内容のパブコメが提出されることが報告された。さらに学会員への周知や外部への情報発信することが提案され、その方法について検討することが了承された。

15. その他

(1) 学会予算案について(資料なし)

杉町理事長より、次年度予算については3月の理事会に提出する必要がある旨確認された。それまでに事務局から各会務担当へ照会を行い、財務担当理事と事務局で取りまとめることになった。

(2) 2020年学会大会の開催について(資料なし)

2020年5/25～5/27に岡山コンベンションセンターで開催する旨告知があり、現在の準備状況について報告があった。

(3) 協賛等の状況

資料29-4-15の回覧により、協賛等の状況について報告がなされた。

(4) 編集からの報告

木村理事より、シンポジウム論文 ABE20 件、生体医工学 17 件、合計 37 件の投稿があり、例年通りの時間進行であるという報告があった。

(5) 研究倫理に関する議論、情報共有について

議題14に関連して、臨床研究法の施行について、議論を深めるべきだとの意見が出された。工学系の医用工学研究を扱う学会が情報共有、合同で議論しながら対応する必要があるのではないかという議論があった。